

【対象年度：平成24年度】

(②福祉施設)

(単位:人、%、円、日)

[illegible]

区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		905	671	631		
	(3)運営日数		245	246	245	250	
	(4)運営人員	①正規職員	2.0	2.0	2.0	2.0	
		②臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0	

2 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

[illegible]

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	20,475	99,743	111,169	100,000	
	③光熱水費					
	④燃料費	58,467	49,008	25,122	60,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費					
	⑦その他(施設消耗品)	293,331	225,762	253,443	226,000	
	計	544,222	494,148	611,338	571,000	
	対前年度増減率		△ 9.2	23.7	△ 6.6	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		10,546,610	8,754,169	9,915,422	10,439,000	
(4)合計のうち運営コストの割合		94.8	94.4	93.8	94.5	
(5)施設の収入 ※1) 下記3に入力する		0	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合						

3 施設管理料又は歳入情報 注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	0	0	0	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	10,546,610	8,754,169	9,915,422	
収支差額 a)－b)	△ 10,546,610	△ 8,754,169	△ 9,915,422	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	
b) 指定管理料	0	0	0	
c) 指定事業収入	0	0	0	
d) 自主事業収入	0	0	0	
e) その他収入	0	0	0	
合計	0	0	0	

4 施設の評価

評価内容	評価のポイント	H24年度の結果	今後の改善策
(1) 施設設置目的の達成度	①施設設置目的に沿った運営が行われているか ②住民サービスの向上が図られているか ③施設設置目的の達成に貢献するような運営がなされているか	・「児童に健全な遊びを与える」児童館の設置目的に忠実に運営が行われた。 ・充実を図ってきた乳幼児とその親を対象とした事業だけでなく、小学生を対象とした事業の充実も図り、各小学校への移動児童館の実施により住民との交流を図るなど、住民を巻き込んだ事業に力を入れた。	・施設運営上、特に問題点は見られないが、さらに、地域住民を巻き込んだ事業を行っていく必要がある。
(2) 利用者満足度	①利用者満足度調査(アンケート)を実施し、結果の検討をしているか ②利用者数は増えているか ③特定地域の住民や特定団体だけでなく、広く市民に利用されているか	・児童館の利用者数 H22 11,055人 H23 12,316人 H24 14,740人 2,424人増加である。 ・利用者満足度調査によると、事業・プログラムの5段階評価で3以上をつけた人が95%以上であり、職員の対応は98%あるため、指定管理者の努力が伺える。	・利用者数の増加のため、既存メニューの見直し、地域の人的資源を活かし、児童館が地域住民の活動の場になる活動を考えていく。特に、移動児童館は、大須賀児童館との共通の事業であり、民生委員・主任児童員・老人クラブ・地区のボランティアの方が学校の子どもたちとの関わりがある事業であり今後も継続していく必要がある。
(3) 効率的な運営	①管理運営費の算出根拠は妥当か ②管理運営費の削減は図られているか ③収支バランスは改善されているか ④利用料金制度の導入又は民間等への移行を検討しているか ※「利用料金制度」とは、条例で定める施設の利用料金の範囲内で、指定管理者の収入として収受させることができる制度。	・委託料は、年度末に精算を行っているため実績額である、大須賀児童館のイベントの一部や、運営委員会を合同で行うことで事業の効率化、事業の質の維持を図っている。 ・指定管理費に占める管理運営費の割合は減少している。	・自主事業の実施だけでなく、他団体、地域住民の活動の場になるようなメニューを検討し、より一層効果的な運営を考えていく。
(4) 施設の将来性及び統廃合の可否	①今後も市民ニーズに応えられ、高い費用対効果が見込めるか ②市内の類似施設との統廃合により機能等の集約は可能か	施設の利用者数は、増で市民ニーズに応えている。 市内の大東地域には目的を共にした類似施設等が無いため、現時点での統廃合による機能の集約は考えていない。	市民ニーズに応えられ、中長期的にも高い費用対効果が望める効率的な運営に努めるものとする。 大須賀児童館との統廃合は、両施設の老朽化、両施設の利用の減少などが顕著となった段階で検討することとしたい。
(5) その他の課題等	①指定管理者の収入を増やすための工夫が行われているか ②設備の維持管理等に関して問題はないか	経年変化や風水害等により施設の劣化が進んでいるため、今後に多額な修繕費を必要とする事態が予想される。	修繕内容が大がかりになること等を予防するため、定期的な診断などを行い、必要な修繕等を実施することとする。

5 その他自由意見